2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名　　パウダーテック株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　5695　　URL　https://www.powdertech.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　（氏名）　丸山　憲行
問合せ先責任者　（役職名）　執行役員管理本部長　（氏名）　宮岡　克寿　(TEL) 04-7145-5751

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年12月10日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	4,051	△11.0	△25	―	△5	―	△25	―
2026年３月期中間期	4,551	1.3	189	21.8	215	37.8	126	27.9

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△20百万円（△117.6%）　2026年３月期中間期　117百万円（△1.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△8.87	―
2026年３月期中間期	43.41	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	15,165	12,550	82.8
2026年３月期	15,639	12,760	81.6

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　12,550百万円　2026年３月期　12,760百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	50.00	―	70.00	120.00
2027年３月期	―	30.00			
2027年３月期(予想)			―	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	△4.8	110	△79.3	140	△76.1	70	△82.8	24.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　―社（社名）―

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,970,000株	2026年３月期	2,970,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	55,732株	2026年３月期	60,426株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,911,582株	2026年３月期中間期	2,905,757株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社の主力製品である電子写真用キャリアを含む機能性材料は、前年同期と比べ、新規機能性材料の高付加価値製品の販売数量は増加いたしました。一方、電子写真用キャリアは、引き続き主要なお客様での需要が弱含みで推移していることに加え、一部お客様で前年度に製品供給タイミングが前倒しになった影響も重なり、販売数量、売上高ともに大きく下回りました。

食品の品質保持に使用される脱酸素剤市場は概ね堅調に推移しており、売上高は前年同期並みとなりました。

このような市場環境下、当中間連結会計期間の売上高は4,051百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

損益面におきましては、電子写真用キャリアの販売数量の減少や原材料・エネルギーコストの上昇により、営業損失は25百万円（前年同期は営業利益189百万円）、経常損失は5百万円（前年同期は経常利益215百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は25百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益126百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 機能性材料事業

当セグメントにおきましては、新規機能性材料は、全体の販売数量は横ばいだったものの、高付加価値製品比率の増加により売上高は増加いたしました。一方、電子写真用キャリアは、一部の高付加価値製品の前年度末の前倒し出荷影響に加え、主要なお客様での需要が弱含みで推移している影響を受け、販売数量、売上高ともに前年同期を下回り、その結果、売上高は3,562百万円（前年同期比12.4%減）となりました。また、原材料価格やエネルギーコスト上昇の影響を受け、セグメント利益は502百万円（前年同期比24.1%減）と、減収減益となりました。

② 品質保持剤事業

当セグメントにおきましては、販売数量はほぼ横ばいだったことから、売上高は489百万円（前年同期比1.0%増）と、前年同期並みとなりました。一方、突発修繕の実施、人件費の増加や包装材料価格等の上昇により、セグメント利益は15百万円（前年同期比46.2%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ930百万円減少しました。主に売上高の減少に伴う売掛金の減少に加え、中小受託取引適正化法の施行に伴う回収サイト短縮の影響により、売掛金および電子記録債権が減少しました。一方、預け金2,000百万円を預金へ振り替えたことから、現金及び預金は増加しました。

固定資産は、本社隣接企業の廃業に伴い、隣接土地の取得および2027年度操業開始予定の新コート工場建設等に伴う建設仮勘定377百万円増加により、457百万円増加いたしました。以上により、総資産は473百万円減少し15,165百万円となりました。

負債は、主に未払法人税等の減少により、263百万円減少し2,615百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する中間純損失および配当金の支払いにより、210百万円減少し12,550百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.2%上昇し82.8%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2026年５月15日に発表しました業績予想の修正を行っております。詳しくは本日付けの「2027年３月期　第２四半期連結累計期間（中間期）の予想値と決算値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	309,530	2,288,045
売掛金	1,249,241	812,354
電子記録債権	586,262	26,311
商品及び製品	1,195,804	1,400,714
仕掛品	1,330,087	1,355,655
原材料及び貯蔵品	765,116	876,215
預け金	3,218,846	932,592
その他	38,401	69,899
貸倒引当金	△984	△349
流動資産合計	8,692,306	7,761,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,606,765	6,660,742
減価償却累計額	△3,764,343	△3,847,724
建物及び構築物（純額）	2,842,421	2,813,018
機械装置及び運搬具	12,284,587	12,375,537
減価償却累計額	△11,305,527	△11,469,136
機械装置及び運搬具（純額）	979,060	906,400
土地	1,860,198	2,025,890
リース資産	759,672	762,397
減価償却累計額	△88,190	△105,116
リース資産（純額）	671,481	657,280
建設仮勘定	139,937	517,795
その他	887,202	916,398
減価償却累計額	△791,909	△813,935
その他（純額）	95,293	102,462
有形固定資産合計	6,588,392	7,022,849
無形固定資産		
ソフトウエア	34,764	30,565
ソフトウエア仮勘定	64,300	79,376
その他	12,469	11,730
無形固定資産合計	111,534	121,673
投資その他の資産		
繰延税金資産	232,610	245,341
その他	16,281	15,981
貸倒引当金	△1,529	△1,529
投資その他の資産合計	247,362	259,793
固定資産合計	6,947,289	7,404,315
資産合計	15,639,595	15,165,753

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	788,815	689,014
リース債務	33,297	33,331
未払金	495,402	520,555
未払法人税等	131,784	21,775
未払事業所税	22,037	11,505
未払消費税等	52,481	4,112
賞与引当金	252,892	221,000
その他	101,379	122,486
流動負債合計	1,878,089	1,623,782
固定負債		
リース債務	652,224	640,456
退職給付に係る負債	348,755	351,307
固定負債合計	1,000,980	991,763
負債合計	2,879,070	2,615,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,960
利益剰余金	9,799,261	9,569,777
自己株式	△168,389	△155,303
株主資本合計	12,753,872	12,538,434
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,653	11,772
その他の包括利益累計額合計	6,653	11,772
純資産合計	12,760,525	12,550,207
負債純資産合計	15,639,595	15,165,753

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	4,551,700	4,051,828
売上原価	3,389,087	3,094,939
売上総利益	1,162,612	956,888
販売費及び一般管理費	973,224	982,449
営業利益又は営業損失（△）	189,387	△25,560
営業外収益		
受取利息	9,143	17,215
助成金収入	22,437	10,663
その他	3,682	3,336
営業外収益合計	35,264	31,215
営業外費用		
支払利息	7,430	7,185
為替差損	490	2,832
その他	949	1,120
営業外費用合計	8,869	11,138
経常利益又は経常損失（△）	215,782	△5,483
特別利益		
受取保険金	39,811	6,269
特別利益合計	39,811	6,269
特別損失		
固定資産処分損	33,590	32,550
固定資産圧縮損	39,673	6,104
特別損失合計	73,264	38,655
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	182,329	△37,869
法人税等	56,191	△12,055
中間純利益又は中間純損失（△）	126,138	△25,813
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	126,138	△25,813

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	126,138	△25,813
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△8,673	5,119
その他の包括利益合計	△8,673	5,119
中間包括利益	117,465	△20,693
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	117,465	△20,693

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	182,329	△37,869
減価償却費	339,566	300,269
貸倒引当金の増減額（△は減少）	167	△635
賞与引当金の増減額（△は減少）	3,166	△31,892
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	18,686	2,552
受取利息及び受取配当金	△9,143	△17,215
支払利息	7,430	7,185
為替差損益（△は益）	116	716
固定資産処分損益（△は益）	33,590	32,550
固定資産圧縮損	39,673	6,104
売上債権の増減額（△は増加）	△70,752	998,241
棚卸資産の増減額（△は増加）	△62,242	△339,836
仕入債務の増減額（△は減少）	△80,549	△98,768
未払金の増減額（△は減少）	141,639	66,678
未払消費税等の増減額（△は減少）	△16,800	△48,368
受取保険金	△39,811	△6,269
その他	12,592	△9,170
小計	499,659	824,272
利息及び配当金の受取額	9,143	17,215
保険金の受取額	39,811	6,269
利息の支払額	△7,430	△7,185
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	3,679	△108,401
営業活動によるキャッシュ・フロー	544,863	732,171
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△364,636	△740,834
有形固定資産の除却による支出	△5,311	△12,254
無形固定資産の取得による支出	△18,100	△66,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△388,047	△819,228
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△16,281	△17,263
自己株式の取得による支出	△167	△78
配当金の支払額	△290,290	△203,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△306,739	△221,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,130	329
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△153,054	△307,739
現金及び現金同等物の期首残高	2,804,117	3,528,376
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,651,063	3,220,637

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益または税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	機能性材料事業	品質保持剤事業	合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,067,499	484,200	4,551,700	―	4,551,700
外部顧客への売上高	4,067,499	484,200	4,551,700	―	4,551,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	4,067,499	484,200	4,551,700	―	4,551,700
セグメント利益	661,395	28,416	689,812	△500,424	189,387

（注）１．調整額は以下のとおりであります。
セグメント利益の調整額△500,424千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△499,799千円及び棚卸資産の調整額△625千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	機能性材料事業	品質保持剤事業	合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,562,827	489,000	4,051,828	―	4,051,828
外部顧客への売上高	3,562,827	489,000	4,051,828	―	4,051,828
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	3,562,827	489,000	4,051,828	―	4,051,828
セグメント利益又はセグメント損失（△）	502,163	15,293	517,456	△543,017	△25,560

（注）１．調整額は以下のとおりであります。
セグメント利益の調整額△543,017千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△543,296千円及び棚卸資産の調整額278千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。